

グローバル

世界でも、社会の大丈夫を創っていく。

国内・海外の双方で価値創出する共創能力を高める

OKIは、北米・欧州・グローバルサウスを結ぶ共創ネットワークを活用し、新たな社会課題の解決に挑戦しています。国内で培った事業ノウハウと世界の技術・パートナー企業様を掛け合わせ、グローバル事業創出のリアルな挑戦を共有します。

■ 展示ストーリー

OKIは、技術を一方的に持ち込むのではなく、現地の制度・文化・運用・利用者の実態を理解し、地域の企業や研究機関、スタートアップと共に解決策を創出します。たとえばグローバルサウスでは、急速な都市化や人口増加に社会インフラの整備が追いつかず、水・物流・エネルギーなどの課題が深刻化しています。OKIは現場に入り込み、国内外の技術と現地の知恵を融合し、課題発見から社会実装、事業化までを推進します。そこで得た知見を日本にも還元し、世界各地に「大丈夫」を増やしていきます。

■ 訴求ポイント

POINT 01

世界の知見をつなぎ、単独では解けない課題に挑む = グローバルパートナーとの共創

現地の制度・文化・商習慣・利用者行動を踏まえ、多様な企業や研究機関、スタートアップと連携する。パートナーを技術供給者ではなく、課題発見から価値設計、事業創出まで共に担う仲間として協働する。

POINT 02

現場から生まれた知恵を、次の社会価値へ変える = リバースイノベーションによる社会課題解決

OKIのグローバル展開は技術輸出にとどまらず、海外で生まれた低コスト・柔軟・拡張性の高い解決策を国内課題にも活用する。現地の革新とOKIの技術・顧客接点・事業基盤を融合し、新市場と価値を創出する。

POINT 03

未来を描くだけでなく、社会で使われるところまで導く = 未来デザイナーの発掘・育成・醸成

未来デザイナーとして、未来を予測するだけでなく、現場の課題を発見し、異なる組織や文化、強みを持つ仲間をつなぎ、実現可能な価値へ変換して社会実装まで推進する人財である。

■ OKIだからこそ実現できる理由

- **OKIのパーパスに共感する仲間が集まるから。**
OKIの共創は技術から始まるのではない。「社会の大丈夫をつくる」というパーパスに共感する仲間が集まる。
- **これまで鍛え上げてきたIMSプロセスがあるから。**
アイデアを生み出すだけでは、社会は変わらない。OKIが鍛え上げてきたIMSプロセスを通じて、課題を価値に、価値を事業に変えていく。社会で使い続けられてこそ、イノベーションは価値になるので、我々は現場に根付き、長く機能する仕組みをつくる。
- **現地の声や知見から柔軟に学ぶことができるから。**
OKIは受注体質であることを課題認識してきたからこそ、自ら未来の価値を構想する「未来デザイナー」を志向している。受注体質も見方を変えれば、“他社から学ぶ力がある”ということ。現地の声や知見を謙虚に受け止めて世界から学び、自らも変化しながら、互いの強みを新たな価値へと変えていく。

■ 出展品

SHO-XYZ

グローバル・スタートアップ展示